

令和7年度事業報告及び決算報告について

令和7年度事業報告

観光まちづくり佐伯の実質2年目となる令和7年度については、安定的な経営に細心の注意を払いながらも「挑戦してみる、やってみる」ことを全職員の指標とし、地域の稼ぐ力を誘発するとともに、当法人の自主財源確保の受け皿を広げる新たな事業も始めました。

佐伯市からの事業受託は貴重な財源であるものの、少しずつ減少しており、市からの委託事業依存割合が大きい経営状況では、人件費支出を常に心配しながらの運営となっており、新年度においてもこの状況は続いています。

また、昨年10月に観光地域づくり法人(地域DMO)に登録され、「持続可能な観光地域づくり」の使命を担うべく今後「地域の多様な関係者と協働し、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔」となるべく成長していかなければなりません。

新年度から、更に新たな人材が加わり、新たな事業を受託して「やってみる」を合言葉に、職員がワンチームとなり頑張っております。

引き続き、佐伯市のツーリズム戦略及び市街地グランドデザイン等に関連する各種受託事業を確実に実施しながらも独自事業を育み、多様な地域事業者との連携によるまちづくりと観光誘客の推進を図るため次の通り事業を執行しました。

【総務企画部】総務課

1. 総務課が所管する会議等の開催

(1) 評議員会

○第1回評議員会

- ・日時 6月27日(金) 午後3時から
- ・議事等 令和6年度事業報告及び決算報告について
基本財産の繰入について
理事の選任(重任及び新任)について

○第2回評議員会(臨時評議員会)

- ・日時 3月24日(火) 午後2時30分から
- ・議事等 定款の変更について
評議員の選任(交代)について
理事の選任(交代及び新任)について

(2) 理事会

○第1回理事会

- ・日時 6月19日(木) 午後3時から
- ・議事等 令和6年度事業報告及び決算報告について
規程(中退共掛金準備積立金規程)の決定について
規程(財産取得等積立金規程、職員給与規程)の改正について
令和7年度事業計画(追加事業)及び補正予算について
定時評議員会について

協賛金の承認について（第3回佐伯フルマラソン大会）

○第2回理事会（臨時理事会）

- ・日 時 7月23日（水）午後3時から
- ・議事等 理事長、副理事長、業務執行理事の選任について
報告事項 ①第1四半期の経営状況について
②観光地域づくり法人登録申請について
③定時評議員会について

○第3回理事会

- ・日 時 3月23日（月）午後3時から
- ・議事等 臨時評議員会について
令和8年度事業計画及び予算について
規程（事務局規程）の改正について
令和8年4月1日付け人事異動（管理監督職員）について
報告事項
① 令和8年4月1日付け人事異動（一般職員）について
② 事務所の移転について

○書面による理事会決議

- ・ 9月22日（月） 職員給与規程の改正について
- ・ 11月17日（月） 債権の放棄について
- ・ 2月16日（月） 管理監督職員の任用について
- ・ 3月24日（火） 専務理事及び業務執行理事の選定について

○佐伯市長との懇談会

- ・日 時 7月23日（水）午後3時30分から
- ・内 容 市長講話（市政運営の基本理念について）
当法人経営戦略等について
意見交換

（3）監事監査

○定時監査 6月9日（月）午後2時00分から

- ・第2期（令和6年度）事業執行及び会計の監査について
※交際費等の支出に関する基準制定に関する助言

○中間監査 11月7日（金）午後2時から

- ・第3期上半期（令和7年4月～9月）事業執行及び会計の中間監査について
※債権放棄事件に関する事前協議

（4）事務局内研修及び会議

ア．コンプライアンス研修の実施

日 時：4月16日（水）、18日（金）、23日（水）

テーマ：佐伯市委託事業の進め方 ～業務受託契約の基本を身に付けよう～

講 師：鳴海宏隆主任（経営企画課）

イ．メンタルヘルス研修の実施

日 時：1月15日（木） 午後1時から一般職、2時から管理職

テーマ：メンタルヘルス セルフケア・ラインケア研修

講師：大分県産業保健総合支援センター 高波利恵氏

ウ. 職員研修の実施

○エコツーリズムの基礎知識について

日時：8月8日(金)午後3時30分から

講師：後藤乙夫さん(元九州地方環境事務所自然保護統括官)

エ. マーケティング戦略に関する意見交換

日時：12月1日(月)午後3時から

講師：鷹野義昭さん(ぐろ〜かる CM 研究所長、株式会社テムズ代表)

オ. ユネスコエコパーク勉強会

日時：2月6日(金)午前10時から

講師：佐伯市観光・国際交流課 課長補佐 堀川聡さん、主任 狩生葉菜さん

(5) 人事評価

5月に目標設定の面談を実施、9月に上半期の評価と面談、2月に年間の評価と面談を行い、職員の育成と資質向上を図るとともに、その結果を職員任用の基礎資料として活用しました。

2. 基本財産の状況 9,000,000円

設立時基本財産3,000,000円から令和6年度に観光協会清算金の寄付を受けて、5,000,000円を増額、令和6年度決算による余剰金から1,000,000円を増額しました。

3. 利益相反取引に関する報告

利益相反取引の報告対象となる取引はありません。

理事個人又は理事が関与する法人等との取引がありますが、いずれも一般顧客や消費者等と同じ条件による物品の売却又は購入並びにサービスの提供又は利用でその契約金額も少額であり、かつ特別割引や特別保証等の便宜もございません。

4. 会員の状況 350会員(令和8年3月末現在)

5. 関連団体等への入会状況

- ・佐伯商工会議所
- ・佐伯市番匠商工会
- ・佐伯市あまべ商工会
- ・公益社団法人佐伯法人会
- ・一般社団法人九州観光機構
- ・公益社団法人ツーリズムおおいた ※池邊代表理事が副会長に就任
- ・一般社団法人全国旅行業協会
- ・一般社団法人大分県旅行業協会

- ・大分県旅行業協同組合
- ・佐伯市自衛隊協力会
- ・東中区

6. 佐伯市委員会等の職員派遣

市街地グランドデザイン推進協議会やさいきツーリズム戦略策定委員会をはじめとする佐伯市所管の26、大分県所管の5、ツーリズムおおいた所管の3、合計34の委員会や審議会等に対し、延べ37名の職員を委員、監事、オブザーバー及び事務局員として派遣しています。

7. さいき桜まつり出店者管理(さいき桜まつり実行委員会から受託)

- ・出店者の募集から当日の出店者管理までを桜まつり実行委員会から受託。
3月28・29日(土・日)
出店 50店舗(市内事業者)

8. ホームページの管理及び情報発信(兼務辞令発令職員対応)

- ・コーポレートサイト(法人としての公式サイト)の管理及び情報発信
各種事業の募集案内や当法人の公開情報を発信しています。
- ・さいき観光ナビ(観光情報等の情報発信サイト)
観光案内や各種イベント紹介等を行っています。

【総務企画部】経営企画課

1. 経営企画課が所管する会議等の開催

(1) 事業推進委員会

○第1回委員会

- ・日 時 5月22日(木) 午後3時から
- ・会 場 佐伯市役所 6階 第2委員会室
- ・議事等 委嘱状の交付
中期経営戦略の進捗状況について
令和7年度事業計画について
令和7年度中の委員会の開催について

○第2回委員会

- ・日 時 8月29日(木) 午後2時から
- ・会 場 佐伯市役所 6階 第2委員会室
- ・議事等 委員の取組紹介(山本副委員長発表)
新商品開発について

○第3回委員会

- ・日 時 12月11日(木) 午後3時から
- ・会 場 佐伯市城下町観光交流館
- ・議事等 委員の取組紹介(三浦委員発表)
新商品開発について

○第4回委員会

- ・日 時 3月17日(火) 午後3時から
- ・会 場 市役所6階第1委員会室
- ・議事等 観光地経営戦略について
新商品開発の進捗状況について

(2) 事務局内研修及び会議

ア. 管理監督職員会議

毎週金曜日の午後3時からの開催を基本として、年間48回の管理監督職員ミーティングを開催しました。事務局内での情報共有や事業執行手法の検討のほか、理事会に提案する議事案の決定や事務局内部統制ルールの確認等を行いました。

イ. 経営企画会議

○広報戦略・情報戦略に関すること

計20回の会議を開催し、ウェブサイトおよびSNSの運用方法等、当法人の情報発信に関する統一的な方向性を「情報発信指針」として決めました。

○新商品開発・販売促進に関すること。

法人内に新商品開発・販売促進会議を立上げ、計33回の会議を開催し、お土産物の研究・制作を行い、実際に以下の5商品の開発・販売を行いました。

・佐伯寿司キーホルダー

エビ、マグロ、アジ、ウニ、サーモン、ブリを各50個(合計300個)制作し、佐伯市内道の駅や海の市場〇、城下堂、たのうらら等でテスト販売を行い完売。現在追加の商品を製作中で、継続販売を行っていく。

・佐伯おこげ煎餅

佐伯のお米、なずなの塩、宇目の原木シイタケを使った煎餅をOEMで600個制作し販売。佐伯市内道の駅、城下堂、たのうらら、KATARU等でテスト販売を行い563個販売。追加発注を行うかどうかを現在検討中。

・巡る水

宇目の祖母山系「藤河内溪谷」で産出される天然水をボトルリングしたミネラルウォーターを当法人オリジナル商品としてネーミング、ラベリングを開発し販売しています。身体にやさしい軟水であると共に料理に利用すればワンランク上の味に仕上がるという事で、ECサイトやふるさと納税返礼品として販売を強化していきます。

・栽培キット

オーガニックシティを謳う佐伯市の有機栽培用の土を使った栽培キットを開発。自宅で手軽に安心・安全な野菜栽培ができます。製造の一部を福祉事務所へ依頼することで地域にも貢献する商品となっています。

その他にも佐伯マグネットや真牡蠣と椎茸のアヒージョ、鰯あら煮等生産者と協業した商品の開発を進めています。

・水の子島灯台クッキー

水の子島灯台(灯塔)、旧吏員退息所、旧物置所の国の重要文化財指定を記念して、お土産品の開発を行いました。(令和8年1月15日付で国の重要文化財に指定。)

2. 観光地域づくり法人（登録DMO）の取組み

令和7年10月1日に当法人が登録DMOとして登録されました（有効期間3年）。引き続き、DMOとしての活動を進めていくとともに、令和10年7月の更新登録申請を見据え、令和8年度中に観光地経営戦略を策定します。

3. 公益法人化の検討

当面、公益法人化に関する手続きは行いませんが、引き続き制度に関する調査研究を継続します。

4. 中期経営戦略（令和10年度末目標）の進捗状況

各担当課において事業を実施した結果、中期経営戦略に掲げる各目標指標の進捗状況は、決算書添付のとおりとなりました。

【事業推進部】観光推進課

【自主事業】

1. 旅行商品企画・販売事業

① さいきレトリップ事業

昨年度に引き続き、城下町エリアにおいて「大正ロマン袴着付体験」事業を行いました。

・販売実績 171名 900,278円（前年比79.1%）

また、今年度はインバウンド商品としての販売を視野に入れ、ツーリズムおおいたが実施する海外旅行事業者招請事業へのレトリップを核にした城下町エリアにおける体験事業の提案を行いました。

・メディア等招請 4月3日（台湾タイガーエア大分メディアFAMトリップ）
11月10日（タイ インフルエンサー）

・海外向け営業 6月11日～14日 ツーリズムおおいた台湾商談会（台北・高雄）
10月29日～31日 ツーリズムおおいた韓国現地営業（ソウル）

今後は、SNSや旅行社への情報発信等を通じて、海外からの誘客に積極的に取り組みます。

② 旅行商品手配・販売

マグロ解体ショー手配やクルーズ船寄港時観光ツアー手配、教育旅行コンテンツ手配、視察時アテンドなど佐伯市内コンテンツを当法人で行い、旅行会社へ販売しました。

また当法人独自で商品を企画しHP等で販売しました。実績は以下の通りです。

・販売額 2,229,777円（前年比104.1%）

今後は、当法人が旅行業を取得している事を活用し、佐伯発着バスツアー等の旅行商品企画・販売を進めていきます。

2. レンタサイクル事業

観光案内所及び観光交流館に設置しているレンタサイクル及び佐伯市が所有するEバイクの利用促進を図りました。今年度は、ツール・ド・九州 宮崎・大分ステージの開催もあり全体的な底上げに繋がりました。

(内訳)

・ レンタサイクル (法人所有分)	
997 件 (前年比 115.9%)	695,650 円 (前年比 112.3%)
・ Eバイク (佐伯市所有分)	
451 件 (前年比 161.6%)	794,500 円 (前年比 140.9%)
計	1,490,150 円 (前年比 125.9%)

3. JR九州観光おもてなし事業

「36ぶらす3」の重岡駅停車時および「ななつ星 in 九州」の佐伯駅停車時にマルシェを開催し、物販販売ならびに観光案内を実施しました。

今年度は、夏季運休期間があり運行本数が30本(前年45本)となり、ガイド料やマルシェでの売上げに影響がありました。

また、「ななつ星 in 九州」は令和8年3月8日の佐伯駅停車を最後にルート変更が行われ、次年度以降は佐伯駅への停車はなくなります。

減少となる販売額のリカバリー策として、自社商品の販売強化や、城下堂・佐伯市観光案内所との連携による新たな収益確保を検討していきます。

「36ぶらす3」については、これまで同様毎週土曜日に重岡駅に停車します。

(販売内訳)

・ ななつ星ガイド料 (JR九州)	270,000 円
・ ななつ星マルシェ販売	689,340 円
・ 36ぶらす3おもてなし (JR九州)	462,000 円
計	1,421,340 円 (昨年度実績: 1,765,730 円)

※「36ぶらす3」は、別途道の駅宇目がマルシェを実施

4. 浦100ツーリズムによる地域再生事業

一般財団法人国土計画協会支援事業3ヵ年事業の内2年目。今年度は、さいきオーガニックマルシェにおいて、鹿革を材料にしたアクセサリーの製作体験、プラスチックで作るキーホルダー製作体験のブースを設置しました。

福岡市東区の商業施設(ガーデンズ千早)で当法人と九州産業大学との共同により8/22~9/23の期間限定でアンテナショップを運営するなど福岡方面でのPRを実施。九州産業大学の生徒の皆さんに事前に佐伯でワークショップを実施し、佐伯の事を理解していただいた上で、アンテナショップの運営を行っていただきました。

また、佐伯市内での着地型コンテンツ・お土産開発に着手し、令和8年度中に販売予定です。

5. 旅先納税<新>

新事業として、観光で訪れた方が携帯電話から「ふるさと納税」を行い、その場で返礼品として佐伯市内加盟店で使える電子商品券「さいき Pay」を受け取れる「旅先納税」を新たに取り入れ、10/3(金)に開始しました。これまでふるさと納税返礼品に対応できていなかったサービス業に恩恵がある施策となり、地域を稼がせるDMOとしての役割を果たす

事業となります。当法人にも寄附額の5%が収入として入ることから自主財源の一つとして寄附額増への取組みを行っていきます。(今年度寄附額 1,770,000 円)

(令和8年6月現在：加盟店 40 軒)

【佐伯市からの受託事業】

(1) 駅前駐車場公金収入及び観光案内業務

駐車場使用料を 2,325,950 円 (15,369 台) 収受し、佐伯市に納付しました。

観光案内業務について、

年間来所数は 8,693 人 (前年比 88.2%) うち外国人 278 人 (外国人比率 3.2%)

電話問合せ件数は 1,873 件 (前年比 62.7%)

(2) 観光交流館観光案内業務

来館者数は 15,909 人 (前年比 82.7%) で、うち市外からの来館は 5,672 人でした。市との連携による「城下町さいきひなめぐり」イベント、「さいきレトリップ」事業や物販事業を積極的に展開してきたことで年間を通じて、3月、2月の順に来館者が多い結果となりました。また、年間の来館者が減少した要因は、4月から9月まで観光ガイドの活動が中止していたことも要因の一つとして考えられます。

(3) 国内誘客推進事業

① NEXCO 西日本との連携事業

公共交通機関 (NEXCO 西日本) が提供する「ドライブパス」を活用。ドライブパスを利用して佐伯市へ来訪された方向けの誘客キャンペーンを実施しました。観光案内所でドライブパスの登録画面を見せると「寒ブリまつり」参加店舗で使用可能なお食事券が当たる企画を初めて実施。

今回の「佐伯市へ直接来訪してチケットを獲得する」仕組みは、SNS 等による効果的な PR と相まって利用者の行動変容を促し、20~40 代の来訪者のうち 49.6% が初来訪となる高い新規誘客効果を生みました。また、満足度 95.1% と評価も高く、「PR による来訪促進」と「高い満足度」を実現する有効な集客施策となりました。

② 別府市との連携事業

別府市に宿泊した観光客に対して、佐伯市の認知度向上と佐伯市への誘客を目的に、別府市、別府市旅館ホテル組合、B-biz LINK、APU、さんふらわあ社等と連携し、「次は佐伯へキャンペーン」を実施しました。宿泊施設での佐伯産品を活用した「佐伯朝ごはんフェア」の開催と共にアンケート回答者への佐伯市内で利用できる食事券の配布、さんふらわあ船内での佐伯市の PR、別府マルシェへの出店、インフルエンサーを活用した情報発信、高校・大学生の動画制作および発信など様々な施策を組み合わせることで、佐伯市の認知拡大、誘客促進、佐伯産品販路拡大、若い世代への情報伝達など実効性の高い取組みとなりました。

③ 由布市との連携事業

由布市との連携事業では、由布市から佐伯市への観光の流れを創出することを目的に実施しました。昨年度由布市内ホテル、旅館に勤務される従業員の方向けに佐伯市モニターツアーを実施し、体験型コンテンツや食の魅力を紹介。ウニ割り体験やE-BIKE体験、食事内容などが高く評価されました。

今年度はそうした着地コンテンツを利用した募集型企画旅行を実施し、高い満足度の獲得と再訪意向や推奨意向に繋がりました。

さらに、由布市インフォメーションセンターでは韓国市場を中心としたインバウンド需要が確認され、ターゲットに応じた情報発信の重要性が示された。総じて、コンテンツの競争力は高く、今後は移動環境や導線設計、受入体制を強化することで、さらなる観光の流れを創出できるものと考えます。

④ 日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会

日豊海岸 大分県南エリアの臼杵市及び津久見市と「日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会」を組織し、3市連携による日豊海岸どんぶり街道事業やメディア等プロモーション活動を行いました。

⑤ 四季を通じた食のフェア事業

ア) 日豊海岸岩ガキまつり

宮崎県延岡市、日向市、門川町との広域連携事業を兼ねて実施し、12年目を迎えました。Instagramを活用し、若年層にも周知を図った結果が功を奏し、実食数アップに繋がりました。

- ・開催期間：令和7年5月1日（佐伯市は5月9日開始）～8月31日
- ・参加店舗数：18店舗（佐伯7・延岡4・門川町2・日向市5）
- ・実食数：【佐伯市のみ】8,112食（※前年比129.9%）
（参考）【全体】19,909食（※前年比116.5%）
- ・販売額：【佐伯市のみ】17,516,988円（※前年比144.4%）

イ) 東九州道伊勢えび海道

宮崎県延岡市との広域連携事業を兼ねて実施し、22年目を迎えました。過去最高の実食数となりました。

- ・開催期間：令和7年9月2日～11月30日
- ・参加店舗数：29店舗（佐伯21・延岡8）
- ・実食数：【佐伯市のみ】14,380食（前年比143.2%）
（参考）【全体】19,016食（前年比130.7%）※過去最高の実食数
- ・総消費額：【佐伯市のみ】162,206,400円（※前年比132.9%）

ウ) さいき寒ブリまつり（新企画）

これまで「さいき食の七福めぐり」「佐伯あったか鍋フェア」を実施してきましたが、来場者アンケートで“ブリ”が圧倒的な人気の魚種であったことから、令和7年度にブリをメインとした企画を初開催しました。また、別府市・NEXCO等との連

携により県内外からの誘客が進み、地域回遊にも寄与しました。

- ・開催期間：令和7年12月6日～令和8年2月8日
- ・参加店舗数：21店舗
- ・実食数：8,521食（目標5,000食）※達成率170.42%
- ・総消費額：72,394,416円

エ) 春のさいき津々浦々 おさかなめぐり（新企画）

昨年度までは「佐伯本まぐろフェア」として実施してきましたが、佐伯本まぐろの仕入れ関係者から、今年度の仕入・提供が困難との話を受け、飲食関係者に春先の取り扱いがし易く、推しの食材を調査した結果、今回の複数魚種に絞り込み「おさかなめぐり」として初開催となりました。

- ・開催期間：令和8年2月14日～3月31日（委託期間）
※3月31日～4月12日（委託対象外：自主事業）
- ・参加店舗数：16店舗
- ・実食数：3,270食（委託期間）
3,968食（全期間：2月14日～4月12日まで）
- ・総消費額：35,264,451円（委託期間）

⑥ 佐伯市旅行商品造成推進事業

ア) 企画ツアー商品造成事業

佐伯市がターゲットとするエリア（大分・福岡・宮崎・関西）からの誘客に向け、旅行会社に対してツアー造成支援金を配布する事業の管理・運営を行いました。ツアー造成支援金の認知向上および実際に商品を造成していただくための訪問営業も並行して行いました。

【日帰りツアー】

支援ツアー本数60本（対目標100%） 総客人数1,454名 消費総額8,613千円
発地エリア 大分58.3%、福岡25.0%、大阪8.3%、宮崎6.6%、熊本1.6%

【宿泊ツアー】

支援ツアー本数11本（対目標110%） 総客人数206名 消費総額4,190千円

イ) 国内・教育旅行商談会事業

旅行会社を集めた商談会に参加し、佐伯市の教育旅行プログラム等を紹介しました。また現地を訪れていただく旅行社に佐伯のコンテンツを紹介するアテンドを実施しました。関西方面からの引き合いもあり、地道な活動が実を結ぶようになってきています。

- ・商談会、教育旅行誘致協議会への参加
7/4（金）大分県教育旅行誘致協議会総会（大分）
8/8（水）九州7県合同修学旅行説明会（大阪）
8/22（金）九州観光コンテンツ商談会（福岡）
10/15（水）ツーリズムおおいた商談会（大分）

12/17 (水) 大分県教育旅行誘致協議会 (WEB)

2/27 (金) 九州観光コンテンツ商談会 (福岡)

3/19 (木) 大分県教育旅行誘致協議会 (大分)

ウ) 観光地域づくり法人 (DMO) 等連携事業

広域 DMO「九州観光機構」、地域連携 DMO「ツーリズムおおいた」と連携し、各種メディア招聘や FAM ツアーの受入れ、並びに国内旅行会社への営業活動を実施しました。

タイガーエアー就航に伴うメディア招聘や香港・タイからの関係者、インフルエンサーのアテンド、日本修学旅行研究協会や国内旅行会社の視察受入れ等で佐伯の魅力ある観光素材をアピールしました。香港での食フェア参加が決まったことやタイでの情報発信、修学旅行コンテンツとして大入島カキ養殖場が紹介される等一定の効果が見られました。今後もいただいた声を地域コンテンツ磨き上げや関連事業者の意識醸成に活用していきます。(多言語対応、受入れ人数、体験メニュー開発等)

⑦ 自衛隊誘客事業(兼務発令職員対応)

海上自衛隊佐伯基地分遣隊との関係構築のため、イベント開催時の誘客、市内店舗・団体との調整を行うとともに、管轄する呉地方総監部への訪問等の調整を実施しました。

- ・ 10/26 (日) オータムフェスタでの艦船一般公開イベント誘客および現地対応
一般公開参加者 1,510 人 (前年比 153.9%)
- ・ 11/10 (月) 呉地方総監表敬訪問 (市長、商工会議所会頭、家族会) 手配、
現地対応
- ・ 3/28 (土) -29 (日) さいき桜まつりでの護衛艦、潜水艦一般公開イベント誘客
および現地対応 一般公開参加者 (2 日間計) 3,424 人

⑧ さいき観光ガイド事務委託事業

旧観光ガイドの会が令和 6 年度末で解散したことを受け、新しい組織としての建付けから佐伯市と協議を行いました。予約から実施までの流れ、ガイド料、ガイド育成等の必要な項目を刷新し、9 月から予約を再開しました。結果、受入人数は減少となりましたが今後増えてくるものと推察します。当法人としては、お申込み段階でのご案内やガイドの方々とのパイプ役として事業を行っていきます。

- ・ ガイド件数：14 件 (前年比 31.8%)
- ・ 受入人数：266 人 (前年比 29.8%)
- ・ 県外比率 45.1% (受入人数ベース)

⑨ グループ誘客事業(経営企画課が業務対応)

佐伯市への交流人口や地域内観光消費額の増加等を目的に活動されている団体・グループに対して、運営費の一部を助成する事業の事務局を受託しました。広く公募を行い、実施内容や期待される効果を面談形式でヒアリングを行い、第一次選考で 5 件、第二次選考で 2 件決定通知を行いました。決定通知後は、効果が最大化となるよう事業実施の進捗管理や助言を行いました。決定団体については以下の通りです。

	決定団体		決定団体
1	佐伯ごまだし暖簾会	5	観光米水津の会
2	さいきグリーンツーリズム研究会	6	直川ツーリズムの会
3	JOIN PROJECT	7	上浦魅力発信プロジェクト
4	さんかくワサビ		

⑩ (追加) 城下町を活用した誘客事業(経営企画課が業務対応)

城下町エリアへの集客促進と歴史的環境の保存・充実を目指し、魅力的な体験コンテンツの開発、既存コンテンツの磨き上げを実施しました。インバウンド誘致も視野に入れた以下の体験コンテンツを造成し、ワークショップやお試し体験会を実施、成果と反省を取りまとめ今後の商品化の検討を行っています。

また、城下町から船頭町にかけて魅力的なフォトスポット発掘や城下町来訪者へのアンケート、大分大学との地域連携によるVR動画の制作等を実施しました。

◎ 書道体験、◎ 陶芸体験、◎ 絵付け体験、◎ パールづくり体験

こうした事業で得られた知見や来訪者の声を活かした城下町の活用を今後も進めていきます。

(4) インバウンド誘客推進事業

佐伯市がターゲットとするエリア(韓国・台湾・香港)からの誘客に向け、現地インバウンド商談会や現地旅行社訪問セールスへの参加、佐伯へ下見に来られた旅行社のアテンド等を実施することで団体・個人旅行のPR事業を実施しました。

・現地インバウンド商談会・旅行社営業への参加

6/11(水)-14(土) ツーリズムおおいた台湾商談会

10/29(火)-31(金) ツーリズムおおいた韓国現地営業同行

(5) 観光情報発信事業

ア) 観光情報等コーディネート事業・動画を使ったプロモーション事業

法人公式SNSアカウントにより定期的な情報発信を実施

・Instagram フォロー数 9,701件(※前年比184.3%)

・Facebook フォロー数 3,220件(※前年比112.8%)

法人公式ホームページ(観光ナビ)により観光情報等を発信

・年間アクセス数 457,714件(※前年比91.5%)

イ) ポスター、グッズ等デザイン事業

佐伯市が実施する各種イベントの広報にかかるちらし・ノベルティ等、

佐伯市内の観光看板のデザインを作成 計 21件

ウ) 観光パンフレット管理事業

(発行業務)

・新規 パンフレット配布用袋 10,000部、佐伯市PRポスター4種 各500部

中心市街地サイクルマップ 10,000 部を作成

- ・既存 佐伯まち歩きガイド 15,000 部、Discover Saiki 繁体字 5,000 部、
浦 100 パンフレット 5,000 部を作成

(発送業務)

- ・観光パンフレット等を 511 件 発送

エ) 広告媒体情報発信事業

月刊ぷらざ 10 月号 OITA 山×海 特集、てくてくぷらす 3・4 春号 桜特集

(6) 自転車活用推進事業

佐伯市が進めるサイクルツーリズムに関する各種情報発信を行うとともに、JR九州運行するサイクルトレインの佐伯駅停車に併せたライドイベント等を実施しました。

- ・月 1 ライドイベント (年 4 回開催) 参加者数合計 86 名
- ・さいきサイクルアドベンチャー (サイクルロゲイニング) (令和 8 年 3 月 8 日)
107 名参加
- ・サイクリング情報発信事業として、インスタグラムやフェイスブックなどの SNS やサイクリング関連のホームページを活用して、本市のサイクルツーリズムに関する情報発信を行いました。

(7) 佐伯市レンタサイクル貸出事業

佐伯市が進めるサイクルツーリズムに基づき、国内外の観光客等の来訪者が市内の景勝地や観光施設等を快適に巡り、自転車を活用した観光振興や地域の活性化を図ることを目的にレンタサイクルの貸出事業を実施しました。

- ・レンタサイクルの実施及び運営
- ・レンタサイクルの実施に係る資機材及び施設の点検、整備、維持管理
- ・独自事業によるレンタサイクルの有効活用 (ライドツアー等の実施)
- ・レンタサイクル利用者への周知、広報
- ・利用者に対するアンケート調査の実施
- ・利用状況等の事業報告及び本事業の検証への協力

(8) 体験型佐伯産品創出事業<新>

ブランド推進課からの委託により、ふるさと納税の体験型返礼品を事業者との打合せにて以下の通り創出し提出しました。今後、ふるさと納税を管轄する総務省のチェックを受け、今年度中に販売する予定です。

- ◎ あまざけ職人を目指そう! (寄付額@17,000)
- ◎ 佐伯市宇目の秋の山仕事体験【栗拾い&里山ランチ】(寄付額@47,000/2名分)
- ◎ 大入島オイスター職場体験&生産者との交流会 (寄付額@48,000/2名分)
- ◎ 若武者ハマチ 海業体験プログラム～養殖から食まで学ぶ一日～
(寄付額@550,000)
- ◎ なずなの塩づくり体験と佐伯でランチ (寄付額@44,000/2名分)

- ◎ 塩熟トマト収穫体験と佐伯でランチ（寄付額@50,000/2名分）
- ◎ 深島の暮らし体験と漁船クルーズ（寄付額@320,000/2名分）

【事業推進部】まちづくり推進課

【自主事業】

(1) さいき本舗城下堂事業

佐伯産品を中心にギフト商品やふるさと納税返礼品などの企画及び販売を行いました。今年度はECサイトやイベントでの販売で売り上げを伸ばすことができました。

(内訳)

・ふるさと納税返礼品販売額	2, 816, 150円
・ECサイト販売額	2, 529, 956円
・ギフト販売	2, 720, 224円
・イベント販売等	9, 457, 135円
計	17, 523, 465円

※昨年度の実績は、11, 498, 148円

※令和8年度から、地域ブランド推進課として取組んでいます。

【佐伯市からの受託事業】

(1) 大手前情報発信館管理業務

施設の清掃と施錠管理業務のほか、掲示版（ポスター、チラシ類）及びデジタルサイネージ、パンフレットラックによる情報発信業務を行いました。

掲示版等許可件数：ポスター掲示数13件、チラシ12件、パンフレット4件、
デジタルサイネージ50件

(2) 市街地人と仕事創造事業

市内における起業創業の支援や事業者の魅力発信、市民団体の交流促進等を次のとおり実施しました。

・ 起業創業支援

まちなか開業サポートセンターでの新規相談者数は7件でした。昨年度からの相談者も含めると、4名が開業できました。業種は、花屋、ドッグサロン、言語聴覚相談室、エステサロンです。うち1社は、クラウドファンディングを活用する市の「民間活力応援事業補助金」の採択を受けています。また、当法人が実施したクラウドファンディング相談会にも参加されており、補助金の知名度アップにも繋がりました。

・ 特産品の開発と販売促進

博多駅コンコースで「さいきフェア in 博多駅」を5月、11月、2月の3回開催し、佐伯寿司、干物、酒類、農産物等を販売しました。

また、オーガニックマルシェを5月、7月、11月に開催し、来場者や出展者同士の交流の場としても広がりを見せています。今後、さらにオーガニックへの関心・認知度を

高めていきたいと考えています。

新規の取組として、福岡 PayPay ドームで開催されたヤマエグループ総合展示商談会に市内7事業所と参加し、全国のバイヤーとの商談に臨みました。12社からの問い合わせをいただき、見積書の提出まで繋がっています。

・まちづくり交流倶楽部

登録団体協力のもと、「城下町さいきフォトめぐり」を実施しました。昔と今の風景を比較展示することで、地域の歴史的価値の再発見、まちなか回遊を促進しました。

〈さいきフェア in 博多駅〉販売実績

- ・5月30日 販売売上実績 535,630円 販売商品個数 765個
- ・11月21日 販売売上実績 516,950円 販売商品個数 739個
- ・2月20日 販売売上実績 520,180円 販売商品個数 656個

(3) チャレンジショップ事業

1号店（飲食事業用、2年間）の募集を行ったところ、ラーメン店が令和7年9月から9年8月まで入居することになりました。佐伯商工会議所経営指導員の定期的な経営指導を受け、経営のノウハウを身に付けていただきます。

2号店（各種サービス事業用、1年間）のリラクゼーションサロンは令和8年2月に入居期間が終了しました。退去後は、新たな店舗としてご自宅を改築し、3月15日に開業されています。また、引き続き2号店の募集を開始しています。

(4) 食のまちづくり推進事業

さいき城山桜ホールキッチンコートを活用した食育ワークショップを開催するほか、市内の各種団体の食育活動支援や市が季節ごとに発行する「桜だより」の食育ページの企画及び原稿作成作業を行いました。

食育ワークショップのテーマは、「地元食材を知ること、食べること」、「魚料理」、「自宅で取り組みやすい内容」とし、年間24回開催、319名の参加がありました。

その中で、昨年度に引き続き伊勢えびの捌き方教室を実施するにあたり、丸二水産のご協力により、初めて現地での開催となりました。参加者からは、生産現場ならではの雰囲気の中、特別な体験ができたという好評でした。

中期経営戦略 進捗状況

※下段は目標値

指標		基準値 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
誘客機能	宿泊客数	121,471人	139,036人	128,713人	***	***	***
			127,544人	133,921人	140,617人	148,000人	155,400人
	顧客満足度	76.2%	宿泊86.7% 一般91.0%	90.8%	***	***	***
			77.7%	79.2%	80.7%	82.3%	84.0%
	観光消費単価 (1人あたり)	4,392円 ※食フェア 基準値なし ※来客調査	5,527円	5,467円	***	***	***
4,611円			4,841円	5,083円	5,337円	5,603円	
リピーター率 (80%以上維持を目標)	78%	宿泊86.7% 一般91.6%	68.8%	***	***	***	
商品開発	ECサイト・ふるさと 納税返礼品売上額	370万円	444万円	535万円	***	***	***
			462万円	578万円	722万円	903万円	1,000万円
	佐伯産品開発累積数 (年間新規3件以上)	7件	10件 (+3)	15件 (+5)	***	***	***
			10件	13件	16件	19件	22件
着地型商品開発累積数 (年間新規1件以上)	7件	11件 (+4)	11件	***	***	***	
		10件	15件	18件	19件	20件	
食キャンペーン実食数	42,487食	29,114食	34,714食	***	***	***	
		44,611食	46,841食	49,183食	51,642食	54,244食	
情報発信	WEBサイト アクセス数	370,380件	493,613件	474,147件	***	***	***
			45万件	55万件	67万件	82万件	100万件
	SNSフォロワー数	9,344人	9,179人	12,921人	***	***	***
			9,811人	9,909人	10,404人	10,924人	11,470人
SNSリーチ数	970,319件	1,095,788件	4,169,625件	***	***	***	
		102万件	107万件	112万件	118万件	123万人	
広報戦略策定・運用	—	準備	策定	***	***	***	
		準備	策定	運用・修正	運用・修正	運用・修正	
連携	会員事業者数	150会員	310会員	350会員	***	***	***
			200会員	250会員	300会員	350会員	400会員
財務基盤	新規自主事業件数 (年間新規1件以上)	4件	5件 (+1)	6件 (+1)	***	***	***
			5件	6件	7件	8件	9件
	事業費支出割合	83.3%	82.3%	82.0%	***	***	***
77%以下			70%以下	70%以下	70%以下	70%以下	
新規管理施設提案累積数 (2年に1件以上)	0件	0件	0件	***	***	***	
		1件	1件	2件	2件	3件	
経営指標の課題	基本的収入割合 (目標：30%以上)	16.3%	22.2%	24.2%	***	***	***
	基本的収入金額 (4,500万円以上)	2,491万円	3,597万円	3,617万円	***	***	***
	外部委託費削減 (1,947万円以下)	2,781万円	2,225万円	1,371万円	***	***	***
	時間外勤務削減 (800時間以下)	1,639時間	584.5時間	209時間	***	***	***

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

決算報告書

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

第 3 期

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

一般財団法人 観光まちづくり佐伯

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

一般財団法人 観光まちづくり佐伯

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,350,450	5,811,669	△ 1,461,219
売掛金	1,959,482	489,888	1,469,594
未収金	8,541,242	19,452,090	△ 10,910,848
前払金	1,379,960	348,420	1,031,540
棚卸資産	3,055,410	2,082,968	972,442
流動資産合計	19,286,544	28,185,035	△ 8,898,491
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産(普通預金)	6,000,000	8,000,000	△ 2,000,000
定期預金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産合計	9,000,000	8,000,000	1,000,000
(2) 特定資産			
中退共掛金準備金積立	1,500,000	0	1,500,000
財産取得等積立金	5,283,411	3,791,965	1,491,446
特定資産合計	6,783,411	3,791,965	2,991,446
(3) その他固定資産			
建物	904,000	1,963,377	△ 1,059,377
建物附属設備	443,013	605,899	△ 162,886
什器備品	34	164,064	△ 164,030
敷金	130,000	130,000	0
保証金	367,000	367,000	0
出資金	30,000	30,000	0
入会金	480,000	900,000	△ 420,000
その他固定資産合計	2,354,047	4,160,340	△ 1,806,293
固定資産合計	18,137,458	15,952,305	2,185,153
資産合計	37,424,002	44,137,340	△ 6,713,338
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	715,515	1,184,668	△ 469,153
未払金	10,674,947	16,132,151	△ 5,457,204
前受金	801,802	466,222	335,580
預り金	1,107,756	33,288	1,074,468
未払法人税等	611,600	1,852,300	△ 1,240,700
未払消費税等	1,204,100	2,765,300	△ 1,561,200
流動負債合計	15,115,720	22,433,929	△ 7,318,209
2. 固定負債			
長期借入金	2,770,000	4,390,000	△ 1,620,000
固定負債合計	2,770,000	4,390,000	△ 1,620,000
負債合計	17,885,720	26,823,929	△ 8,938,209
III 正味財産の部			
1. 基金			

科 目	当年度	前年度	増 減
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
寄付金	8,791,965	8,791,965	0
指定正味財産合計	11,791,965	11,791,965	0
(うち基本財産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,791,965)	(3,791,965)	(0)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	7,746,317	5,521,446	2,224,871
一般正味財産合計	7,746,317	5,521,446	2,224,871
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(2,991,446)	(0)	(2,991,446)
正味財産合計	19,538,282	17,313,411	2,224,871
負債及び正味財産合計	37,424,002	44,137,340	△ 6,713,338

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

一般財団法人 観光まちづくり佐伯

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	[26,026,233]	[26,075,130]	[△ 48,897]
受取家賃	635,000	515,000	120,000
受取負担金	1,467,458	3,599,811	△ 2,132,353
販売収入	6,294,310	9,446,631	△ 3,152,321
城下堂収入	17,523,465	11,490,228	6,033,237
特別会費(伊勢海老)	42,000	42,000	0
特別会費(岩ガキ)	14,000	18,000	△ 4,000
特別会費(冬の食)	21,000	0	21,000
特別会費(春の食)	16,000	0	16,000
特別会費(TPU)	13,000	0	13,000
イベント事業収益	0	963,460	△ 963,460
受取補助金等	[123,160,499]	[136,468,545]	[△ 13,308,046]
受取委託金	119,394,079	127,836,767	△ 8,442,688
受取補助金	3,766,420	8,631,778	△ 4,865,358
受取寄付金	[0]	[1,120,159]	[△ 1,120,159]
雑収益	[175,302]	[114,813]	[60,489]
受取利息	[27,389]	[18,424]	[8,965]
経常収益計	149,389,423	163,797,071	△ 14,407,648
(2) 経常費用			
事業費	[125,394,159]	[136,463,138]	[△ 11,068,979]
給料手当	42,361,639	42,906,384	△ 544,745
賞与	7,534,565	5,985,090	1,549,475
賃金	60,100	51,800	8,300
法定福利費	7,898,520	6,704,956	1,193,564
福利厚生費	1,420,701	873,208	547,493
研修費	51,235	0	51,235
旅費交通費	4,366,188	4,485,333	△ 119,145
通信費	2,073,352	2,036,851	36,501
販売購入費	11,714,642	9,002,124	2,712,518
試作開発費	163,492	0	163,492
消耗品費	3,896,680	5,354,660	△ 1,457,980
会議費	226,082	21,750	204,332
印刷製本費	1,559,031	119,715	1,439,316
光熱水料費	730,968	554,099	176,869
賃借料	7,152,246	10,606,099	△ 3,453,853
交際費	211,634	382,292	△ 170,658
広告宣伝費	2,299,183	4,047,359	△ 1,748,176
販売促進費	4,238,582	6,826,530	△ 2,587,948
租税公課	2,829,700	2,942,898	△ 113,198
支払手数料	1,706,472	2,690,010	△ 983,538

科 目	当年度	前年度	増 減
諸会費	278,030	39,000	239,030
諸謝金	12,900	3,000	9,900
委託金	13,712,393	22,249,429	△ 8,537,036
支払助成金	7,394,400	6,915,200	479,200
保険料	575,081	716,444	△ 141,363
修繕維持費	330,715	444,417	△ 113,702
減価償却費	420,000	0	420,000
雑費	164,628	504,490	△ 339,862
貸倒損失	11,000	0	11,000
管理費	[21,114,614]	[18,656,702]	[2,457,912]
役員報酬	474,500	511,500	△ 37,000
給料手当	7,167,561	5,523,722	1,643,839
賞与	2,596,113	2,039,592	556,521
法定福利費	4,230,706	3,870,376	360,330
福利厚生費	412,637	323,308	89,329
研修費	83,579	0	83,579
旅費交通費	445,081	361,850	83,231
通信費	120,631	168,891	△ 48,260
消耗品費	440,124	622,915	△ 182,791
会議費	91,800	0	91,800
印刷製本費	0	17,300	△ 17,300
光熱水料費	140,876	130,582	10,294
賃借料	899,003	870,245	28,758
交際費	50,992	29,840	21,152
広告宣伝費	112,751	50,600	62,151
租税公課	44,628	99,234	△ 54,606
支払手数料	2,225,831	560,263	1,665,568
諸会費	12,545	267,575	△ 255,030
保険料	98,468	92,728	5,740
修繕維持費	69,996	75,378	△ 5,382
減価償却費	1,386,293	1,838,738	△ 452,445
繰延資産償却費	0	1,125,741	△ 1,125,741
雑費	10,499	76,324	△ 65,825
支払利息	[44,179]	[51,763]	[△ 7,584]
経常費用計	146,552,952	155,171,603	△ 8,618,651
評価損益等調整前当期経常増減額	2,836,471	8,625,468	△ 5,788,997
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,836,471	8,625,468	△ 5,788,997
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産減損損失	[0]	[1,167,922]	[△ 1,167,922]

科 目	当年度	前年度	増 減
法人税等	[611,600]	[1,852,300]	[△ 1,240,700]
経常外費用計	611,600	3,020,222	△ 2,408,622
当期経常外増減額	△ 611,600	△ 3,020,222	2,408,622
当期一般正味財産増減額	2,224,871	5,605,246	△ 3,380,375
一般正味財産期首残高	5,521,446	△ 83,800	5,605,246
一般正味財産期末残高	7,746,317	5,521,446	2,224,871
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[0]	[8,791,965]	[△ 8,791,965]
一般正味財産への振替額	[0]	[3,000,000]	[△ 3,000,000]
当期指定正味財産増減額	0	11,791,965	△ 11,791,965
指定正味財産期首残高	11,791,965	0	11,791,965
指定正味財産期末残高	11,791,965	11,791,965	0
III 基金増減の部			
基金受入額	[0]	[△ 3,000,000]	[3,000,000]
当期基金増減額	0	△ 3,000,000	3,000,000
基金期首残高	0	3,000,000	△ 3,000,000
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	19,538,282	17,313,411	2,224,871

財産目録

令和 8年 3月31日現在

一般財団法人 観光まちづくり佐伯

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現預金	城下堂他手元現金	運転資金として	503,164
	現預金	釣銭用保管現金		52,000
		駅前案内所	釣銭用	10,000
		交流館	釣銭用	20,000
		36ぷらす3	釣銭用	22,000
		郵貯普通(収益)	運転資金として	348,236
		普通預金(大分銀行)	運転資金として	184,197
		大銀普通(収益)	運転資金として	1,694,256
		労金普通(公益)	運転資金として	1,335,280
		労金普通(さいきPAY)	運転資金として	233,317
	売掛金		ふるさと納税他3月分売上他	1,959,482
	未収金		佐伯市 委託事業未収分他	8,541,242
	前払金			1,379,960
棚卸資産			3,055,410	
流動資産合計				19,286,544
(固定資産)				
基本財産				
	基本財産(普通預金)	九州労働金庫	基本財産として保有している	6,000,000
	基本財産(指定)			5,000,000
	基本財産(一般)			1,000,000
	定期預金	九州労働金庫	基本財産として保有している	3,000,000
	定期預金(他)			3,000,000
特定資産				
	中退共掛金準備積立		職員退職金積立目的として保有している	1,500,000
	積立預金(一般)			1,500,000
	財産取得等積立金		財産取得目的の積立金として保有している	5,283,411
	積立預金(一般)			1,491,446
その他固定資産				
	建物			904,000
	建物附属設備			443,013
	什器備品			34
	敷金			130,000
	保証金	旅行業協会・JR九州		367,000
	出資金	大分県旅行業協同組合		30,000
	入会金	旅行業協会		480,000
固定資産合計				18,137,458
資産合計				37,424,002
(流動負債)				
	買掛金		3月販売仕入分	715,515
	未払金		R7年度事業費支払分	10,674,947
	前受金			801,802
	預り金			1,107,756

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	社会保険料			602,295
	雇用保険			351,120
	さいきPay			142,341
	電子スタンプ			12,000
	未払法人税等			611,600
	未払消費税等			1,204,100
流動負債合計				15,115,720
(固定負債)				
	長期借入金	日本政策金融公庫	情報発信館他設備費用	2,770,000
固定負債合計				2,770,000
負債合計				17,885,720
正味財産				19,538,282